

はじめに

国語という教科は、論理的かつ客観的な視点が必要とされています。短期間で実力のつきにくい教科ではありますが、この自覚のうえに立ち、解法を着実に身につける目的で、本書は編集されています。

現代文ではメディア論、社会科学論などジャンルを絞ってとり上げ、そのジャンルに応じた解法が習得できるようにしてあります。今後文章を読むときに、それが何のジャンルであるかを確認することが大切です。

本書が有意義に活用されることを願っています。

構成と活用法

本テキストは、次のように構成されています。

▼基本事項

各単元のポイントを、簡潔な説明で示しています。

▼プラスα

基本事項に盛り込めなかった重要事項も示してあります。

▼例題

現代文では各分野の典型的な文章を掲載。設問の下に「重要語句」や「ヒント」を添えて基本演習に役立つようになっています。

▼演習問題A・演習問題B

基礎力の再確認と応用力の養成を目的としています。実際のテストのつもりで答えを書き込み、そのあとで「解答説」と照合してください。

◆ もくじ — 現代文 I

1	現代文の読解(1) — メディア論	2
2	現代文の読解(2) — 日本文化論	8
3	現代文の読解(3) — 社会科学論	14
4	現代文の読解(4) — 近代(批評)論	20
	漢字トレーニング	26

基本事項

1 メディアとは？

○「メディア」：「メディア」とは、もともとは「手段、媒体」という意味で、「情報を人々に伝達する媒体」のことを指す。テレビ・ラジオ・新聞・雑誌など一般大衆を対象とするメディアは「マスメディア」と呼ぶ。近年では、インターネットもマスメディアに含まれる。

2 「旧来のマスメディア」と「新しいマスメディア」

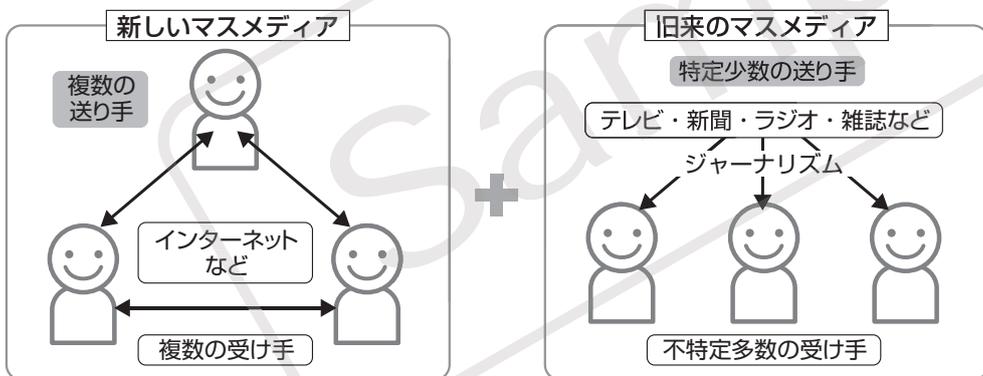
○「旧来のマスメディア」：テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など、一般大衆に大量の情報を送る媒体。世論の動向を左右し、政治や経済に影響を与えることもある。

○「新しいマスメディア」：複数の送り手から複数の受け手へ情報が行き交うしくみになっている。インターネットなどを利用することでいつでも、どこでも、だれとでも、通信が可能。

3 メディア論のテーマ

情報の伝わり方の変化に伴い、メディア論のテーマも変化してきている。
・メディア論の出發：マクルーハンの『人間拡張の原理』
↓人間の世界や輪郭の地球大の拡大・人間関係の変質にどについて
↓情報の氾濫、プライバシーなどについて

・パソコンやインターネットの普及後
↓グローバル化、情報の漏えい、メディアアリテラシー、電子化などについて



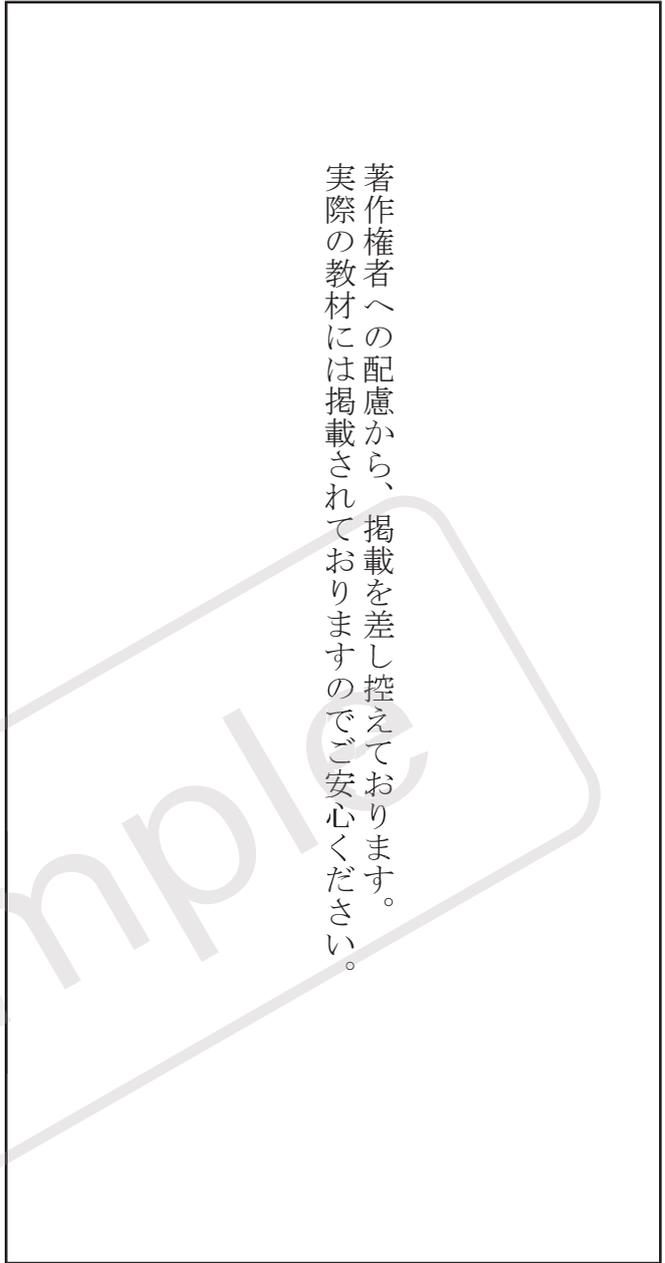
ポイント

- ▽媒体に広く情報を伝えるときの手段として使うもの。
- ▽大衆に一般の人々。
- ▽「大衆」が大きな力を持つ社会が「大衆社会」だが、「大衆社会」という語が、いい意味で使われることは、あまりない。「大衆社会」の問題点として、政治的無関心、情報操作や扇動に弱いことなどが挙げられる。
- ▽ジャーナリズムにマスメディアによる、時事的な問題の報道、解説、批評などの活動
- ▽メディアアリテラシーに情報を選別し、真偽を見極める力。
- ▽グローバル化に物事が国家や国境に関係なく地球規模で展開すること。
- ▽「グローバル化」を推進すべきとする考え方を「グローバルズム」という。
- ▽プライバシーに個人の私生活に関する情報。また、それを守る権利。
- ▽電子化に紙の文書や画像などを、コンピュータで使えるようにデジタルデータに変えること。

例題

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。



(小浜逸郎「人はなぜ働かなくてはならないのか」による。一部中略がある)

問一 線「それら」とは何を指しているか、本文中から六字の言葉を抜き出せ。

問二 Aに入る最も適切な言葉を次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 一致する イ 乖離する ウ 交差する エ 混乱する

問三 「情報インフレ」による問題点についてまとめた次の文の _____ に入る言葉を、本文中から抜き出して書け。

・「本当の自分」を探り当てる際に、 _____ として作用したり、

_____ を追いかけさせたり、社会への参加の意識をもつものに

_____ を思い知らせたりするという点。

重要語句

- ◇ 把握＝しっかりと理解すること。
- ◇ 能動的＝自分からすすんで働きかける様子。
①積極的 ②受動的
- ◇ 恣意＝自分勝手な考え。
- ◇ 「情報インフレ」＝ここでは、個人の必要性を超えた、圧倒的な量の情報が、無秩序に個人に向かって流されること。
- ◇ 弊害＝悪い影響。
- ◇ ヴァーチャル・リアリティ＝コンピュータ技術によって作り出された、仮想の現実(空間)。仮想現実。

POINT

- 問一 指示語が指す内容は、指示語の前にあることが多い。——線の前を丁寧に読んで、字数に合う言葉を抜き出す。
- 問二 マスメディアなどによってもたらされる情報を、筆者はどのようなものと捉えているかを確認する。
- 問三 「情報インフレ」については、第二、第三段落に書かれている。

文章の分析

内田樹「街場のメディア論」

「真に個人的な言葉」

- ・「どうしても言っておきたい」言葉
- ・情理を尽くし、言葉を選ぶ
- ・暴走しない

「誰でも言いそうな言葉」

- ・同じことを言う人間がいる言葉
 - ・情理を尽くす必要がない
 - ・暴走する
- 例 「名無し」という名乗り
 「呪い」が発信者の存在根拠を溶かしてゆく

「メディア」の言葉

- ・語る人に固有名がない
- ・生身の個人の「どうしても言いたいこと」ではない
- ・個人による制御が及んでいない
- ・「誰でも言いそうなこと」だけを語っている

存在しなくなっても
 誰も困らない

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

10

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

40

35

30

25

20

15

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますので、ご安心ください。

(内田樹「街場のメディア論」による)

(注) デマゴグ：意図的に虚偽の情報を流し、人を扇動しようとする人物。

剣呑…不安を覚えるさま。

2ちゃんねる…日本最大級の電子掲示板サイト。

コロラリ…当然の結果。帰結。

問一 A に入る最も適切な漢字二字の言葉を、本文中から抜き出せ。

--	--

問二 — 線①「『どうしてもこれだけは言っておきたい』という言葉は決して『暴走』したりはしません」とあるが、なぜか。四十五字以内で書け。

45

50

55

問三 — 線②「『名無し』が語っている言葉」についてまとめた次の文の

a 〓 d に入る最も適切な言葉を後のア～オから一つずつ選び、それぞれ記号で答えよ。

・発信したことに対して、最終的に a を取る個人がいない言葉なので、 b 的になりがちで、 c になった人を傷つける。それに加えて、発信している人に自分の必要性を d させる危険もある。

ア 標的 イ 責任 ウ 選択 エ 否定 オ 攻撃

問四 — 線③「『呪い』の力を侮ってはいけません」とあるが、これはどういうことを言おうとしているのか。最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア ネット上に氾濫する「呪い」の言葉は、真剣に受け止める必要があるということ。

イ 「名無し」が語る言葉は「呪い」であり、確実に他人の命を奪うものであるということ。

ウ 「名無し」の名乗りを繰り返す人は、今後も爆発的な勢いで増え続けていくということ。

エ 「名無し」の名乗りを繰り返すと、自分の存在根拠を見失い、生命力が衰えていくということ。

問五 筆者は、メディアが急速に力を失っている理由をどのように考えているか。三十文字以内で書け。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

演

習

問

題

IB

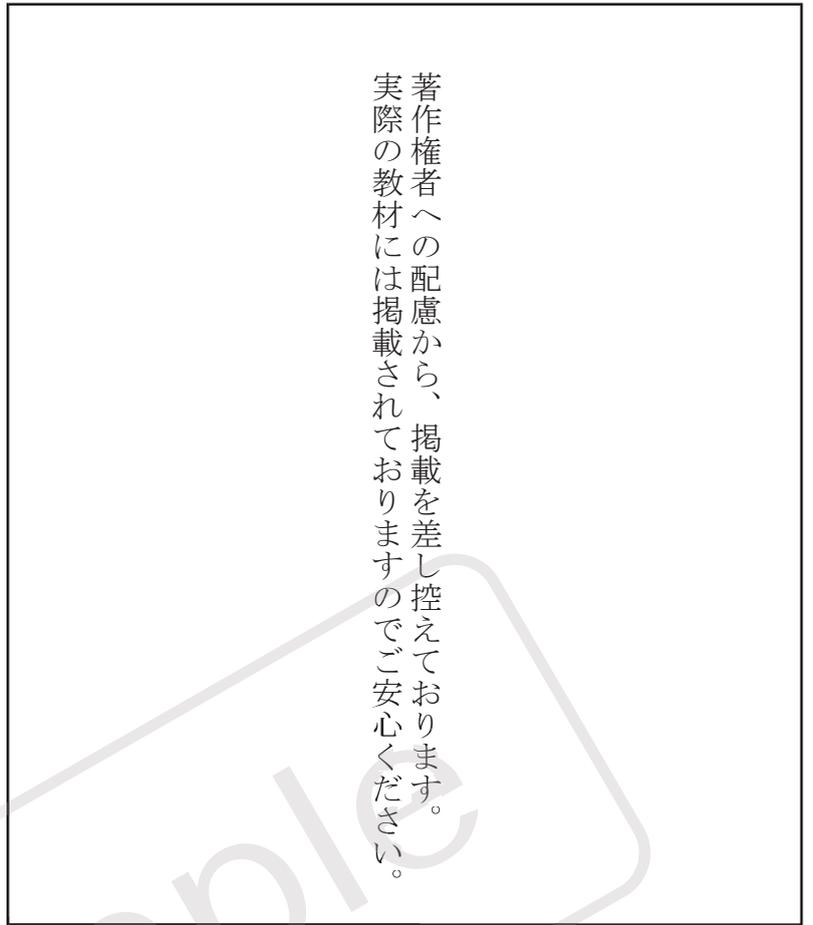
著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

55 50 45 40 35 30

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。



75 70 65 60

(注) サブプライム・ローン：アメリカの低所得者向けの住宅ローン。世界的な株安の引き金となった。
 (西垣通「ネットとリアルのあいだ」による。一部中略がある)

オートボイエイテック・システム：自分(オート)で自分を創り出す(ボイエイシステム)存在。自己創出システム。

問一 A・Bに入る接続語として最も適切なものを、次のア～エから一つずつ選び、それぞれ記号で答えよ。

- ア たとえば イ さらに ウ だから エ しかし
 A 「 」 B 「 」

問二 本文中ではどのような「情報」が述べられているか。「最狭義」以外の「情報」を、五十字以内で説明せよ。

問三 線①「新しい観点から、情報社会のありかたを見直してみる必要がありはしないか」とあるが、二一世紀の「情報社会」の特徴を最も端的に表している七字の言葉を本文中から抜き出せ。

問四 線②「人々は情報を定型的な『データ』とみなし、自らすすんで情報処理単位と化していく」とあるが、「情報処理単位と化していく」とは、人々のどのような状態を表しているのか。六十文字以内で書け。

問五 本文の内容と合致するものを次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。
 ア 二一世紀は、ネットの普及により、グローバル資本主義がひろがり、国家が個人に対して絶対的な権力をもつようになった。

イ ネットで検索すれば、どんな情報でも瞬時に、簡単に手に入るようになった以上、人間は「刺激」を求めて情報を入力し続けるべきだ。
 ウ 機械情報は、簡単に手に入るようになったが、それだけでは人間が生きるうえで意味のある生命情報が生まれるのは難しい。

エ 現代の人間は、ネットの仮想空間の中にしか、「私(自己)のリアル」をつくることできない。